



浪花みやげ三編  
二

76  
1538  
11



大日本松栞見立方

大関 松之部 唐崎孤松 住吉岸姫松 曾根靈松 吹上根上松 太宰府老松 濱松羽衣松 三保羽衣松 長範物見松 阿古屋の松

前頭 須磨月見松 阿部西行松 初音御座松 石部美松 天橋龍燈松 吉崎蓮如松 湯平天神松 清盛車止松 蟻松原虎松 別府の松

行司 鹿島溝松 大坂 妙法寺松 大原神代松 佐江村松 濱田松寺松

光が... 書林兼草紙屋

勸進元高砂相生松



# 大日本松藝見立角力

大關 奈長都重接  
小次郎 昔長等山接  
白子 不接  
月輪時兩接  
正月十六日接  
須磨若木接  
宗持寺助接  
金龍寺助接  
明石音杖接  
南部駿章接  
任吉車接  
楊貴她接  
高基寺接  
嶋崎正月接  
身延法接  
石樂師接  
祇園千本接  
淺草浅黄接  
法石金玉接  
恩智左近接  
湯殿運接

園女五右衛門接  
吉の勝接  
日守并接  
柏本右衛門接  
秀保の接  
今込彦接  
日秀彦接  
楊屋の接  
三浦の接  
宝屋の接  
御守の接  
海老原の接  
吉屋の接  
神川の接  
実家の接  
石屋の接  
八坂の接  
天竺の接  
あまの接  
あまの接  
あまの接  
あまの接  
あまの接

### 世話人頭取

吉野山  
東山  
知恩院  
法室  
生馬  
乃生  
乃生  
乃生

門 7 6

## 行司

清水地主接  
鞍馬山源接  
森寺西行接

福寺荒下接  
執音系接  
元石津置接  
曾志五右衛門接

## 養凌吉野山本接

和州

記  
此の  
下  
に  
記  
す

書林兼草紙屋



かこうひでもの  
かこうひでもの

勸進元 かんのもの  
かこうひでもの

東之方

大関 おおいせき  
おおいせきのうけぎるすけ

関脇 せきわき  
せきわきのうけぎるすけ

小結 せきむすび  
せきむすびのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

行司 ぎょうじ  
ぎょうじのうけぎるすけ

養人 やうにん  
かこうひでもの

西之方

大関 おおいせき  
おおいせきのうけぎるすけ

関脇 せきわき  
せきわきのうけぎるすけ

小結 せきむすび  
せきむすびのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

前頭 まへづら  
まへづらのうけぎるすけ

頭取 かぶとどり  
かぶとどりのうけぎるすけ

盛衰記  
三國志  
**勇士競見立**

西ノ方三國志

蜀 關興 同 文醜	魏 劉曄 漢 華雄 同 黃祖	同 魏延 蜀 孫乾 同 糜竺	蜀 黃忠 同 顏良 同 周倉	同 陸遜 漢 呂布 同 裴化	吳 魯肅 蜀 關平 同 裴志	魏 將張遼 蜀 馬岱 同 陳登	西涼 馬超 蜀 馬超 同 陳登	吳 王孫策 吳 大央慈 魏 董昭	常山 趙雲 魏 夏侯惇 蜀 關策	元師 姜維 魏 典韋 同 凌統	燕人 張飛 吳 甘寧 同 凌統	司馬 仲達 魏 張郃 魏 李典	蜀 王孫權 蜀 張苞 蜀 伊籍	蜀 亭立德 同 徐晃 同 程普	魏 許褚 魏 鍾會
--------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------

**行司**

智者漢 魏 徐 庾 義士 壽亭侯 關 羽  
智者魏 曹 丕 英雄 魏 王 曹 操

書林兼草紙屋

盛衰記  
三國志  
**勇土競見立**

東方盛衰記

源太景季 <small>カゲノ</small>	佐木盛綱 <small>モツナ</small>	齊藤実盛 <small>サトリ</small>	佐藤忠信 <small>サバノブ</small>	前司盛俊 <small>モリトシ</small>	結城朝光 <small>ムスシロ</small>	上總分廣常 <small>ヒロノ</small>	越中盛次 <small>モリトシ</small>	熊谷直実 <small>クマノ</small>	悪七兵衛清 <small>アカノ</small>	那須守宗高 <small>ナノ</small>	真田守直忠 <small>マキノ</small>	鈴木重清 <small>ジノ</small>	樋口兼光 <small>ヒノ</small>	手塚光盛 <small>テノ</small>	上總忠光 <small>ウヘノ</small>	伊勢義盛 <small>イノ</small>	河津祐保 <small>カノ</small>	加藤三景廉 <small>カガ</small>	安達盛長 <small>アノ</small>	主馬盛久 <small>ムノ</small>	伊藤祐近 <small>イノ</small>	股野景久 <small>クノ</small>	
仁田忠常 <small>ニノ</small>	伊藤祐清 <small>イノ</small>	笠原重清 <small>カサ</small>	川越重頼 <small>カハ</small>	金子家忠 <small>カネ</small>	平山季重 <small>ヘノ</small>	佐原義行 <small>サノ</small>	三保谷国俊 <small>ミノ</small>	武蔵有国 <small>ムノ</small>	岡部忠澄 <small>オノ</small>	截入行家 <small>セノ</small>	土肥直正 <small>ツノ</small>	根井行親 <small>ネノ</small>	亀井重久 <small>カメ</small>	行岡経春 <small>ヤノ</small>	江田弘経 <small>エノ</small>	駿河清重 <small>スノ</small>	鷲尾茂久 <small>ヱノ</small>	熊井忠基 <small>クマ</small>	喜三太経久 <small>キノ</small>	高橋長綱 <small>タカ</small>	大庭景親 <small>オノ</small>	八牧兼高 <small>ヤノ</small>	瀬尾兼康 <small>セノ</small>

**行司**

古今ノ知日者  
諸葛孔明  
伊豫守義経  
軍法亮非

義士  
賢人  
義士

武藏坊辨慶  
内府重盛  
朝比奈義秀

書林兼草紙屋

忠臣藏名寄地ぬれぬ

一物ぐまけりかあまほん  
 りんぐりかぐりぬのれま  
 うちらちのちややせんや  
 か吉川中務守とゆうつらき  
 ろほよまぜんとてんそめ  
 くりごめとあんなや  
 ちんぐらんやまもかみ  
 ずりお中を良し物とよ  
 せつあうのち後のよや  
 非仲と寺とら平ちり  
 ちくしとまばいごらん  
 うけとあとも  
 日うるれもごらん内も  
 いのあつたのり

あつ後縁とごらん  
 あむんとおろしよ  
 大厚い免り  
 石とらうたうりとも  
 庄へんやとらや  
 早野和年やとら  
 おう色松の本おとら  
 ぼらとれととまきすん  
 ちのちのちとらも天川や  
 めとあけともいとおと  
 ちぎれ跡又節夫百作り  
 系力跡右のちしん  
 ちりくめであらし

りよ  
 小あみぬ  
 力跡

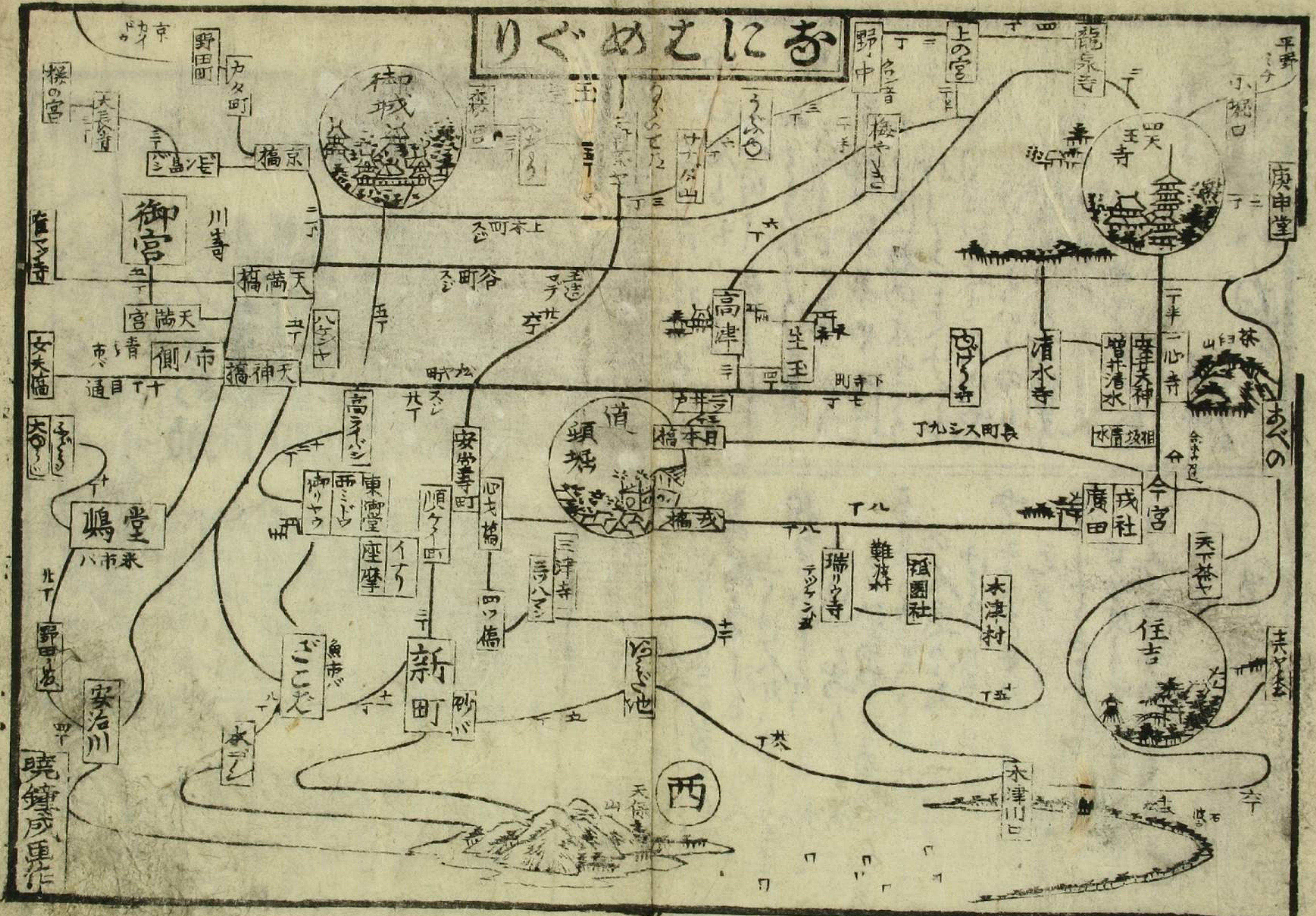
庄へんやとらちんか  
 ちやらららとちか  
 おのれおとらあはら  
 まく庄へんやのち一筆と  
 ちりん年やとら  
 ほんまくとらこのち  
 ちのちのちのちのち  
 つたぐおのちのちのち  
 ちのちのちのちのち  
 がとらとらぬぬぬぬ  
 ちのちのちのちのち  
 のちのちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち

万人目のちのちのち  
 四千七とらとらとら  
 そのちのちのちのち  
 おとせんかとらとら  
 ちのちのちのちのち  
 こいちやとらとら  
 こもらうくとらとら  
 のちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち  
 ちのちのちのちのち

りよ  
 力跡  
 小あみ



おにえめぐり



實競外顯見五角力

大関 小関 結 前頭 前頭 前頭 前頭 前頭 前頭

おろし若島 若州住藤 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島

前司 前司 前司 前司 前司 前司 前司 前司

時姫三浦 松山文七 山崎文七 山崎文七 山崎文七 山崎文七 山崎文七 山崎文七

三務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七

おせん右左 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七

為御覽

行 梅川忠義 司 女房洋高

世 梅がく源太 人 乃げ巻助六

進 小安郎新兵衛

大関 小関 結 前頭 前頭 前頭 前頭 前頭 前頭

おろし若島 若州住藤 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島

前司 前司 前司 前司 前司 前司 前司 前司

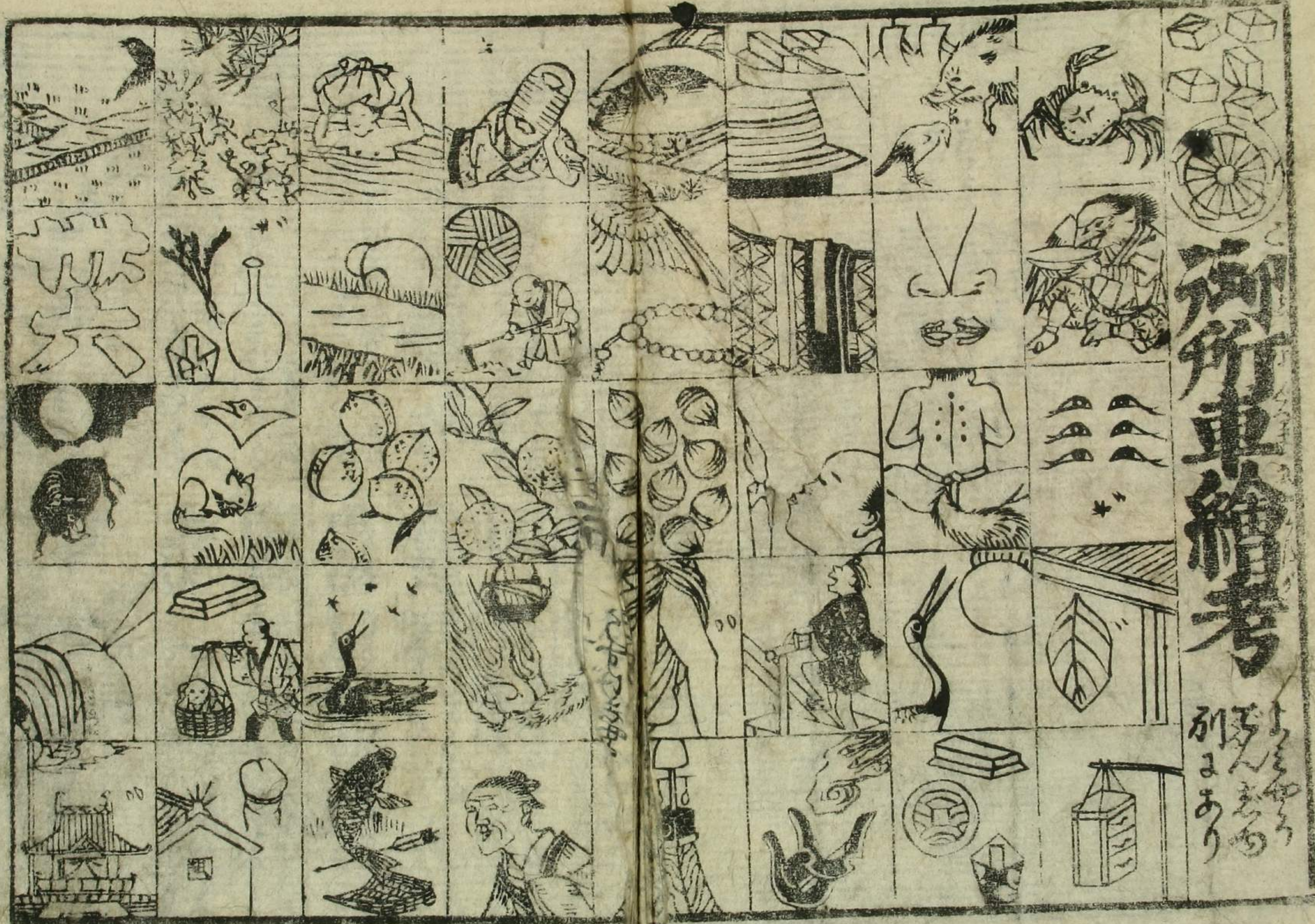
おろし若島 若州住藤 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島 小倉若島

三務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七

おせん右左 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七 中務才七

書林齋草紙屋





# 御所車繪考

御所車  
 絵考  
 ありあり

ついでにわが女のすゝめ

東ノ方

大関

大関はしほを人のまゝに  
ちよきむすむまゝに

関脇

大関のまゝに  
のまゝに

小結

大関のまゝに  
のまゝに

前頭

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

大関

大関のまゝに  
のまゝに

西ノ方

大関

大関はしほを人のまゝに  
ちよきむすむまゝに

関脇

大関のまゝに  
のまゝに

小結

大関のまゝに  
のまゝに

前頭

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

同

大関のまゝに  
のまゝに

頭取

大関のまゝに  
のまゝに



# ひらりらへん

あめふちるるも	ほれていさごも	せいがあいの
まふくろりらぬ	まよはるるま	さうらうさ
ひごめあのおんて	あつくまでも	たうりやう
さごめませぬ	さごめませぬ	ゆいのおめう
ひねにあら	おまのさあ	いんあさ
おまのさあ	まらうひて	うんであ
とこまでも	ばいさ	まこい
いまあ	まけあ	まらう
ゆいのこす	いやあ	いんあ
まのていろ	おんあ	たの
ひんあ	おま	や
あんと	さう	あいの
をんに	はあ	けよ
ごめもよ	かぬ	すれ
さごめ	いつ	おも
あわて	ひごめ	この
わあ	ぬい	あ
さごめ	ささ	か
あゆん	かめ	さ
かん	もつ	さ
ま	や	う
ま	あ	お
ほ	い	さ
さ	ら	あ
い	ほ	あ

江戸の世帯 (Edo no Seidai)

<p>江戸の世帯主の お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 
<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 
<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 	<p>お茶の淹れ方 お茶の淹れ方</p> 

青物海奉次人請復文

青物奉李證交之事

一 けせりこ中女出生のあかんと園あんひ  
ごりりあうかうと村心松身せう強  
成者あうかうたけさうり様ごかうかうく  
よさんせうはは取実山也持方去うやうの  
三月廿二日の三月近中奉九福入ほうとあひ  
実の復取とあああてんあひしあうかうり  
御免次くしてまゝのこらんるあひこあひが  
んかめうとあひて二股大根三の葉くよひた  
ちうのたあいたいも頸様うり様もあひあう  
うけやう浦い後ら宗方代々南無妙法蓮華  
そう復奉書三枚うへんあひんえんあひんあひん  
和尚の修書は復い青物札仍白紙

振舞三年柿八月

茄子の香

なごん人せり

信人行の香を

天後 大根屋血右衛門の版



木根虎作

# 舟代道頭堀川藏

## 大栄浪花點

八巻



昔は三津の黒雲の波のあはれは海舟の潮の初れたか信をいづる時津  
かばねのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるのま  
たもふくしつゝあはれなるものありしをさるるものありしをさるるものありしを  
さるるものありしをさるるものありしをさるるものありしをさるるものありしを

### 第序

ちよひのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるものありしを

正之

### 第二

舟にゆかばねのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるものありしを

礼の

### 第三

舟にゆかばねのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるものありしを

合は

### 第四

舟にゆかばねのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるものありしを

井の

### 第五

舟にゆかばねのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるものありしを

十

### 第六

舟にゆかばねのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるものありしを

二

### 第七

舟にゆかばねのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるものありしを

九

### 第八

舟にゆかばねのうらみは後世のあはれは今もあはれなるものありしをさるるものありしを

あ

けつとに二へんお波刺  
あはれなるものありしを



# 座本 安治川おぼえ

# 大津浪花點

八冊物



あきののしず  
 田天玉子  
 すまじ一八  
 女夫比其奈  
 さつもの  
 鹿はしあまハ  
 けをこまえ  
 長くうへハ  
 指のりハ  
 さのめたるハ  
 けんをさま  
 ななまま  
 変をさつ  
 じごくを  
 こえを  
 新地  
 其のふし  
 あまの  
 ぶんら  
 娘の  
 極の上

中村沅門  
 増井水右門  
 阿波座鳩蔵  
 網嶋道蔵  
 大川浪三郎  
 吉原新門  
 新川深利  
 大渡船九郎  
 蛭川権蔵  
 中村二重門  
 津村國五兵衛  
 野川吉太郎  
 中村うん平  
 尾上新道

天神の  
 いり  
 うま  
 や  
 さ  
 多  
 月  
 さ  
 柳  
 代  
 四  
 こ  
 さ  
 ひ  
 の  
 さ  
 大

市の側  
 山下  
 清水  
 富嶋  
 市川  
 高津川  
 赤穂  
 十三濱  
 浅尾  
 川崎  
 浮世  
 嵐  
 高津  
 寺  
 山  
 大谷

千鶴

狂言作者

木根九

書林兼草紙屋



今井秀光作

# あまのついでに

二編

霞のふらふらとて  
扇が吹す車あまのついで

たこのり〜みて  
ほろろとあまのついで

あまのついでとて  
神子の鈴があまのついで

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

あまのついでとて  
あまのついでとて

# 後者は六の(四)

少 戸田我童

中村秋右衛門

實山延三郎

嵐 晴寛

中じり大吉

山下金佐

三井 大五郎

嵐 晴珠

浅尾真山

中村 秋六

中山 又五郎

市川 寿美丞

市川 市紅

中村 福助

市川 十郎

可 壽

尾上 寛藏

中村 常盤

中じり 友三

中村 千之助

中村 駒三郎

中村 鶴助

市川 小團二

市川 十郎

市川 新四郎

市川 眼玉

浅尾 長徳

市川 市蔵

浅尾 長六

市川 十郎

大正十一年



# くりぐり見立角力

今井九作

勸進元直田つくり

東之方

大関真加かたくり

関脇魚下シハマくり

小結せまハからくり

前頭ゆひるハとつくり

前頭かむ大ハかくり

前頭このハささくり

前頭おんハちやくり

前頭これハ七つくり

前頭たつハぬつくり

前頭あなハなぐり

前頭子供ハラハくり

前頭かりハさぐり

頭取 くりから作

くり山

行司 小くり判

つ黒くり

差添まハ己たくり

西之方

大関くつハたまぐり

関脇魚ハびつくり

小結せまハをくり

前頭ゆひハちつくり

前頭かむハまくり

前頭このハゆつくり

前頭おんハこ七くり

前頭これハちつくり

前頭たつハゆつくり

前頭あなハびつくり

前頭子供ハラたれくり

前頭かりハめぐり

世話 くり皮茶

くりあげ

人語 くりこを

魚そくり











未代一口咄二篇

嘉永三戌年

二月十一日  
 大さのり老ふか  
 子への山出を咄しや  
 ありあらんや  
 山と



四月十六日  
 子への山出を咄しや  
 ありあらんや  
 山と



五度五

渡川助三右衛門難解

嘉永三	同十三	同十四	同十五	天保二	河九	文政三	同十三	同十七	同十七	文化四	享和三	同九	實政三
八月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月
八日	廿三日	廿三日	廿六日	廿六日	廿六日	廿六日	廿七日	廿七日	廿七日	廿七日	廿七日	廿七日	廿七日

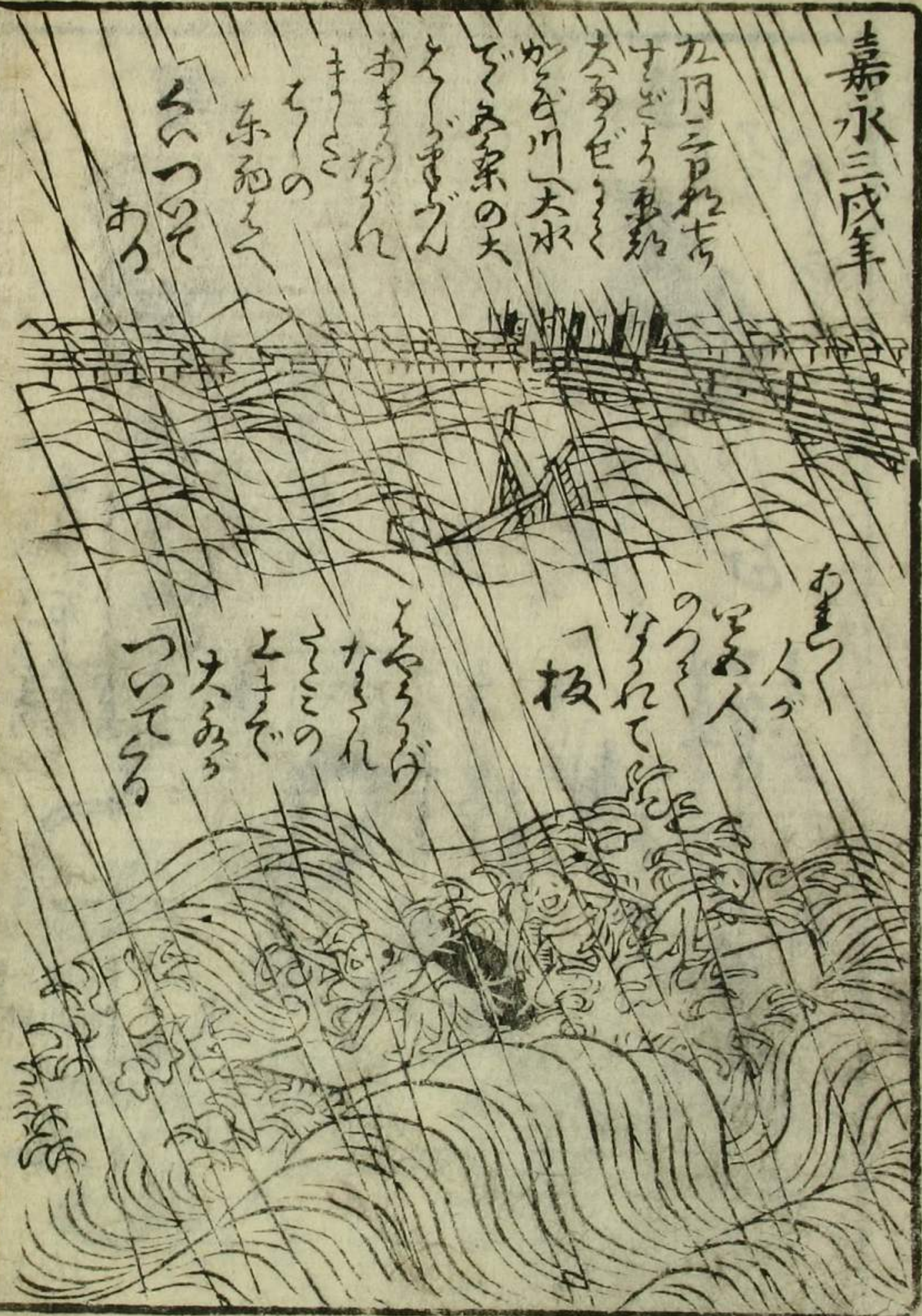


八月八日  
 子への山出を咄しや  
 ありあらんや  
 山と



未代一口楽四篇

嘉永三戌年



九月三日  
 大なる雨  
 大なる川  
 大なる水  
 大なる舟  
 大なる人  
 大なる物  
 大なる事

大なる舟  
 大なる人  
 大なる物  
 大なる事

大なる人  
 大なる物  
 大なる事



大なる舟  
 大なる人  
 大なる物  
 大なる事

大なる舟  
 大なる人  
 大なる物  
 大なる事

大なる人  
 大なる物  
 大なる事

# 大新板附會日柳橋

正直  
小直  
子の  
神の



四  
浪



申島  
大の  
裏  
七騎



十  
君の  
大  
比



已  
大  
天



大  
閣  
西



八  
大  
小  
前  
髪



黄  
鐘  
平  
大  
未



変  
三  
目  
小  
出



卯  
の  
小  
城  
六  
文



本  
字  
支  
の  
末  
大  
九  
と



丑  
若  
小  
男  
極  
名



